

企業等に対する卒業生に関するアンケートについて（ご報告）

I R室

卒業生に関する調査として、企業等を対象に、本学の卒業生に身につけていると感じる能力、実社会において必要と考える能力、今後本学の教育や学生支援に期待すること等についてアンケートを実施しました（平成30年12月～平成31年1月に教務課・キャリアサポート課が実施）。

なお、能力評価については、平成24年度改訂カリキュラム以前の教育課程による卒業生に関するものとなります。

【結果概要（別紙集計データ参照）】

<全体>

- ・回答要請企業等数は、過去7年間で3名以上の内定があった企業等170社であり、回答数が90社（約53%）となった。
その他、本調査要請企業等数は、平成30年度の学部卒業生の就職先組織数（161社）以上である。
- ・回答企業等の所在地は、大阪（40%）、東京（19%）、京都（10%）、兵庫（6%）、奈良（4%）が主である。
- ・回答企業等の業種は、病院（33%）、薬局（24%）、製薬企業（18%）、ドラッグストア（9%）、公務員（計9%）、その他（7%）という構成である。
- ・卒業生の進路・就職状況から教育成果等を検討し、また、企業等がどのような能力・資質等を求めているかを確認するため、「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」「グループ②：製薬企業、化学系企業、食品系企業」「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」に区分して、以下のとおり、結果確認を進めた。

<問2：本学の卒業生に身につけていると感じる能力>

- ディプロマ・ポリシーに準じて、(1) 薬剤師としての心構え、(2) 患者・生活者本位の視点、(3) コミュニケーション能力、(4) チーム医療への参画、(5) 基礎的な科学力、(6) 薬物治療における実践的能力、(7) 地域の保健・医療における実践的能力、(8) 研究能力、(9) 自己研鑽、(10) 教育・指導能力、(11) 文章表現力・数的処理能力、(12) 国際感覚・異文化理解の区分で調査した。卒業時調査、卒業生調査における設問内容と同様。
- 「グループ①：病院、薬局、ドラッグストア」の回答
 - ・全ての区分において「どちらかと言えば身につけている」が40%を超えている。
 - ・「身につけている」の割合は、(1)が57%と高く、(2)が47%、(9)が45%、(3)が40%、(4)が40%という順である。
 - ・(4)・(7)・(8)・(10)～(12)については、「どちらかと言えば身につけていない」の割合が10%を超え他に比べて高く、(8)・(10)～(12)については、「身につけていない」にも回答がある。
- 「グループ②：製薬企業、化学系企業、食品系企業」の回答
 - ・「どちらかと言えば身につけている」の割合が、(1)～(3)・(7)・(9)～(11)については40%超、(4)～(6)・(8)・(12)については30%台となっている。
 - ・「身につけている」の割合は(5)が44%と高く、(1)が38%、(2)が38%、(3)が38%という順である。
 - ・(4)～(8)・(10)～(12)については、「どちらかと言えば身につけていない」の割合が10%を超え他に比べて高く、(6)については25%と特に高い。(8)～(10)・(12)については、「身につけていない」にも回答があり、(12)は19%と特に高い。
- 「グループ③：公務員（病院）、公務員（行政）、教育機関、その他」の回答
 - ・「どちらかと言えば身につけている」の割合が、(1)～(3)・(5)～(12)については40%超となっており、(3)・(8)・

(11) が 70%を超え特に高い。しかし、(4) が 29%と低い。

・「身につけている」の割合は (9) が 50%と高く、(1) が 36%、(2) が 29%、(5) が 29%、(3) が 21%、(4) が 21%、(7) が 21%という順である。

・(4)・(6)・(10)～(12)については、「どちらかと言えば身につけていない」の割合が 10%を超え他に比べて高く、(4)・(10)・(12)については 20%を超え特に高い。なお、「身につけていない」には回答がない。

○回答区分に配点したグループ比較

「身につけている」・・・2点、「どちらかと言えば身につけている」・・・1点、

「どちらかと言えば身につけていない」・・・-1点、「身につけていない」・・・-2点 として算定

※グループ毎に構成数が異なるため、算定された合計点を構成数（該当しない・未回答は除く）で割り、均等化して比較する

※グループにおいて 1 点以上を赤、0.5 点未満を青で記載。グループ全体で 3 点以上を赤、1.5 点未満を青で記載。

	グループ①	グループ②	グループ③	合計
(1) 薬剤師としての心構え	1.57 点	1.27 点	1.42 点	4.25 点
(2) 患者・生活者本位の視点	1.43 点	1.29 点	1.17 点	3.89 点
(3) コミュニケーション能力	1.33 点	1.27 点	1.21 点	3.81 点
(4) チーム医療への参画	1.14 点	1.08 点	0.70 点	2.92 点
(5) 基礎的な科学力	1.05 点	1.20 点	1.31 点	3.56 点
(6) 薬物治療における実践的能力	1.25 点	0.62 点	0.80 点	2.67 点
(7) 地域の保健・医療における実践的能力	0.81 点	0.85 点	1.10 点	2.76 点
(8) 研究能力	0.60 点	0.71 点	1.15 点	2.47 点
(9) 自己研鑽	1.32 点	0.93 点	1.50 点	3.76 点
(10) 教育・指導能力	0.88 点	0.67 点	0.69 点	2.24 点
(11) 文章表現力・数的処理能力	0.67 点	0.80 点	0.86 点	2.32 点
(12) 国際感覚・異文化理解	0.67 点	0.00 点	0.67 点	1.33 点
合計	12.71 点	10.68 点	12.58 点	—

- ・グループ別の合計点から、グループ①・③からの評価が高く、グループ②からの評価が比較的低い。
- ・(1)～(3)・(5)・(9)については、全グループからの評価が高い。
- ・(8)・(10)～(12)については、全グループからの評価が比較的低い。特に(12)は1点台と評価が低い。
- ・グループ③からの(4)の評価は低い。
- ・(6)については、グループ①からのみ評価が高い。
- ・(7)・(8)については、グループ③からのみ評価が高い。
- ・グループ②からの(9)の評価は比較的低い。
- ・グループ②・③からの(10)の評価は低い。
- ・グループ①からの(11)の評価は低い。
- ・卒業時調査において学生が身についた能力と考える順は、(1)・(2)・(9)・(5)・(4)・(8)・(3)となり、(3)は下位に位置するが、企業等からは評価されている。
- ・卒業生調査において卒業生が身についた能力と考える順は、(1)・(5)・(9)・(2)・(6)・(4)・(3)となり、(3)は下位に位置するが、企業等からは評価されている。また、上位に位置する(6)は、企業等の評価とはあまりマッチしていない。

<問3：実社会において必要と考える能力>

○卒業時調査、卒業生調査における設問内容と同様。

○グループ毎の回答比較

	グループ①	回答数	グループ②	回答数	グループ③	回答数
上位	コミュニケーション能力	53	コミュニケーション能力	14	コミュニケーション能力	14
	問題発見・解決能力	47	問題発見・解決能力	11	問題発見・解決能力	10
	チームワーク	35	倫理観	11	チームワーク	9
	積極性・リーダーシップ	27	論理的思考力	9	論理的思考力	8
	専門知識・技能	27	積極性・リーダーシップ	8	倫理観	6
下位	幅広い教養	6	情報リテラシー	3	語学力・国際感覚	2
	社会問題の理解	5	幅広い教養	2	自己分析力	1
	文章表現力	2	語学力・国際感覚	1	情報リテラシー	1
	情報リテラシー	2	文章表現力	0	社会問題の理解	1
	語学力・国際感覚	1	社会問題の理解	0	文章表現力	0

- ・コミュニケーション能力、問題発見・解決能力については、全グループが必要と考えている。
- ・専門知識・技能については、グループ①からのみ上位となっている。
- ・論理的思考力、倫理観については、グループ②・③のみ上位となっている。
- ・チームワークについては、グループ①・③のみ上位となっている。
- ・積極性・リーダーシップについては、グループ①・②のみ上位となっている。

(参 考) 卒業時調査、卒業生調査毎の回答比較

	卒業時調査	回答数	卒業生調査	回答数
上位	コミュニケーション能力	247	コミュニケーション能力	420
	問題発見・解決能力	176	問題発見・解決能力	315
	チームワーク	135	チームワーク	192
	倫理観	130	専門知識・技能	187
	専門知識・技能	130	積極性・リーダーシップ	180
下位	企画力・計画力	35	企画力・計画力	89
	語学力・国際感覚	22	文章表現力	67
	情報リテラシー	19	語学力・国際感覚	38
	文章表現力	18	社会問題の理解	22
	社会問題の理解	18	情報リテラシー	19

- ・卒業時調査と卒業生調査で上位のチームワークは、企業等グループ②では上位ではない。
- ・卒業時調査で上位の倫理観は、企業等グループ①では上位ではない。
- ・卒業時調査と卒業生調査で上位の専門知識・技能は、企業等グループ②・③では上位ではない。
- ・卒業生調査で上位の積極性・リーダーシップは、企業等グループ③では上位ではない。
- ・卒業時調査と卒業生調査で下位の企画力・計画力は、企業等グループ①～③では下位ではない。

<問4-(1): 今後充実させて欲しい教育分野>

○卒業時調査、卒業生調査における設問内容と同様。

○グループ毎の回答比較

	グループ①	回答数	グループ②	回答数	グループ③	回答数
上位	基礎教育・ヒューマンズ教育	37	薬学専門教育	9	基礎教育・ヒューマンズ教育	6
	医療薬学教育	31	基礎教育・ヒューマンズ教育	8	語学教育	6
	薬学専門教育	26	キャリア教育	6	薬学専門教育	6
	実務科目	16	語学教育	4	医療薬学教育	6
	キャリア教育	16	医療薬学教育	3	キャリア教育	6
下位	卒業研究	7	実務科目	2	卒業研究	1
	語学教育	6	実習科目	1	実習科目	0
	実習科目	3	卒業研究	1	実務科目	0

(参考) 卒業時調査、卒業生調査毎の回答比較

	卒業時調査	回答数	卒業生調査	回答数
上位	薬学専門教育	154	医療薬学教育	278
	医療薬学教育	140	薬学専門教育	264
	語学教育	101	実務科目	208
	基礎教育・ヒューマンズ教育	99	キャリア教育	148
	実務科目	99	実習科目	125
下位	卒業研究	23	基礎教育・ヒューマンズ教育	91
	実習科目	21	卒業研究	88

- ・卒業時調査で上位の語学教育は、企業等グループ①では上位ではない。
- ・卒業時調査と卒業生調査で上位の実務科目は、企業等グループ②・③では上位ではない。
- ・卒業生調査で上位の実習科目は、企業等グループ①～③では上位ではない。
- ・卒業生調査で下位の基礎教育・ヒューマンズ教育は、企業等グループ①～③では上位となる。

<問4-(2): 学生生活を通じて人間形成のために大学が何に力を入れることが望ましいか>

○卒業時調査、卒業生調査における設問内容と同様。

○グループ毎の回答比較

	グループ①	回答数	グループ②	回答数	グループ③	回答数
上位	地域貢献活動の支援	38	海外留学の支援	8	地域貢献活動の支援	6
	ボランティア活動の支援	27	研究室での活動	8	インターンシップ	5
	キャリア支援	22	地域貢献活動の支援	6	研究室での活動	5
	インターンシップ	14	ボランティア活動の支援	5	キャリア支援	4
	研究室での活動	13	キャリア支援	5	ボランティア活動の支援	3
下位	海外留学の支援	10	クラブ活動の支援	4	海外留学の支援	2
	アドバイザー制度	10	インターンシップ	4	クラブ活動の支援	1
	クラブ活動の支援	9	アドバイザー制度	2	アドバイザー制度	0

(参考) 卒業時調査、卒業生調査毎の回答比較

	卒業時調査	回答数	卒業生調査	回答数
上位	インターンシップ	125	インターンシップ	240
	キャリア教育	120	キャリア教育	233
	クラブ活動の支援	105	海外留学の支援	186
	海外留学の支援	105	クラブ活動の支援	149
	研究室での活動	105	地域貢献活動の支援	145
下位	地域貢献活動の支援	31	研究室での活動	131
	ボランティア活動の支援	26	ボランティア活動の支援	117
	アドバイザー制度	20	アドバイザー制度	76

- ・卒業時調査と卒業生調査で上位のインターンシップは、企業等グループ②では上位ではない。
- ・卒業時調査と卒業生調査で上位のクラブ活動の支援は、企業等グループ①～③では上位ではない。
- ・卒業時調査と卒業生調査で上位の海外留学の支援は、企業等グループ①・③では上位ではない。
- ・卒業時調査で下位の地域貢献活動の支援は、企業等グループ①～③では上位となる。
- ・卒業時調査と卒業生調査で下位のボランティア活動の支援は、企業等グループ①～③では上位となる。
- ・卒業生調査で下位の研究室での活動は、企業等グループ①～③では上位となる。